

□1月4日説教(隅野徹牧師)短縮版
「わたしはあなたと共にいる」(マタイ28:16～20)

20節の二つ目の文では、死に勝利されたイエス・キリストが私達と共にいて、支えてくださるとあります。イエス・キリストはノルマ的に「信者を増やさない」とは全くおっしゃっていません。その源泉は愛です。主がすべての人を罪から救おうと、愛をもって招かれたように、私たちもまだイエス・キリストを知らない人を、愛をもって救いの道に導きなさいとおっしゃっているのです。

皆さんはキリストを知らない人を、教会にお誘いになったことがあると思います。またキリスト教が何を大切にしているのか、聖書が何を教えているのかなど、お話しになった経験がおありだと思います。その時のことを思い出してみると、簡単に通じたり誘えたことは、なかったのではないのでしょうか。簡単ではないから、もう伝えるのはやめよう、という気持ちになった経験があるとおもいます。愛をもってキリストのもとに人をお招きするというのは、本当に労苦の伴うものです。何年にもわたる陰での祈りがあってこそ、はじめて相手が主のもとに導かれるものだと、わたしは実体験から思うのです。

しかし、今日の箇所は大切なことを私たちに教えます。神・キリストは、自分だけで人を救いに導きなさいと命じておられるのではないのです。罪も欠けもある、そんな私達と共におられ、一緒になって多くの人を罪から救い、ご自分に倣う生き方に導こうとなさっているのです。弱く疑いやすい私たちに対し、「私と一緒に愛の業をなしていこう」と勧めておられるのです。そのために必要なのは聖霊の働きであり、聖霊に満たされるためにはへりくだりが必要です。

一年の初めに、「こんなわたしをも神はお救い下さった」という信仰の原点にもどり、心新たに主の業を共に担わせていただきましょう。(終)